

記 録

件 名：令和2年度（第4回）大分県未来技術地域実装協議会

日 時：令和3年3月11日（木）15：00～16：00

場 所：オンライン会議（Skype for Business）

参加者：総務省九州総合通信局（九総通）

厚生労働所掌九州厚生局（厚生局）

経済産業省九州経済産業局（九経局）

avatarin 株式会社（avatarin）

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

大分県先端技術挑戦室（大分県）

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

（1）これまでの取組状況と今後の取組の方向性について

- ・大分県より、資料により報告（資料は非公開）

（2）参加者からの情報提供（詳細は非公開）

4. 意見交換

○九経局

- ・現在の状況を伺って我々が考えている以上に事業として進んでいると感じた。
 - ・教育関係等の公的利用については既に自走可能なレベルに達している印象。
 - ・民間の取組については事業者のアイデア次第かと思うので、九経局としても民間の事業化に向けた取り組みを支援していきたい。
 - ・アバター産業創出塾に取り組んでいるとのことだが、大分県としてはアバター産業の創出を①newme を用いた新ビジネスの立案・展開、②アバターロボットやそれに用いるシステム等プラットフォームそのものを新規に開発、のいずれをイメージしているか。
- （県）大分県としては両面で進めたいと考えている。これまでロボット産業やIT産業との関わりの薄かった事業者がnewmeを導入によって新たなビジネスを立案することも期待しているし、ロボットやシステムの開発が可能な事業者に対しては新たなアバターロボット等、プラットフォームの開発に繋がればと考えている。

○九経局

- ・経産省では、R2年度補正予算で事業再構築支援補助金（事業全体での予算規模1兆円超）を創設し、3月中に公募を開始する予定。コロナ禍への対応として、従来の事業と異なる新規事業を行う事業者の設備投資を支援するもので1社あたり最大1億円を補助予定。新たにアバターの開発などに取り組む企業があれば是非ご活用いただきたい。

○九総通

- ・事業としての大きな広がりを感じており素晴らしいと思った。
- ・活用にあたって通信が必要な機器になり、普及に伴って通信のひっ迫を招く懸念もあるので、通信の高度化等が課題となると思われるので効率的な通信システムの構築もご検討いただきたい。

○厚生局

- ・民間の活用事例の中で、社会福祉施設や障がい者施設での活用も図られている点に興味があった。これから実証試験等の積み重ねが必要とは思いますが、将来的に福祉施策として展開できる可能性を感じている。
- ・当方としても強い興味があるので、実際に実証試験等する機会があれば、いずれかのタイミングで現場を視察させていただきたい。

○JAXA

- ・先日の種子島宇宙センター見学では、見学された生徒の反応もよく実際に施設を訪問したい等の意見が聞かれたことで宇宙教育の面で非常に有用であると感じたところ。
- ・今後は宇宙教育の面で JAXA の宇宙教育センターとの連携を図りながら、引き続き取り組んでいきたい。

以上